

## 薬剤師会におけるアンチ・ドーピング啓発活動について

(一社) 三重県薬剤師会 薬事情報センター

### 国民体育大会が開催されます

2021年は、三重県で第76回国民体育大会「三重とこわか国体」が開催される年です。

国体は国内最大のスポーツの祭典で、広く国民の間にスポーツを普及し、健康増進と体力の向上を図り、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的に毎年都道府県持ち回りで開催されています。

三重県での開催は46年ぶりとなります。

開催時期は、2021年9月25日(土)から2021年10月5日(火)です。

開会式会場、各種競技会場でアンチ・ドーピング啓発のブースを三重県薬剤師会として開設する予定です。



三重とこわか国体・三重とこわか大会  
マスコット「とこまる」

### ドーピングとアンチ・ドーピング

ドーピングとは、「スポーツにおいて禁止されている物質や方法によって競技能力を高め、意図的に自分だけが優位に立ち、勝利を得ようとする行為」で、アンチ・ドーピングとは、ドーピング行為に反対(anti アンチ)し、スポーツとして成り立つための、教育・啓発や検査といった様々な活動のことです。

アンチ・ドーピングとは、「クリーンで構成なスポーツを守るための活動」です。(JADA ホームページの記述より)

### 三重県薬剤師会の取り組み

三重県薬剤師会では、薬事情報センターにドーピング防止窓口を設置して、選手、監督・コーチ、選手の家族からのドーピングに関する相談を常時受け付けています。

当会では、三重国体の開催を控え、3年前から計画的にアンチ・ドーピング啓発活動の強化に取り組んでいます。これまでの主な取り組みは次のとおりです。

#### ・スポーツファーマシスト部会(以下、SP部会)の設置

当会のアンチ・ドーピング活動と三重とこわか国体におけるアンチ・ドーピング対策のためにSP部会を設置しました(令和元年5月)。SP部会は令和3年4月までに5回開催しています。

#### ・アスリートのためのお薬手帳の作成、配布

手帳には、「私は、スポーツ選手です。ドーピング禁止薬以外の薬剤投与をお

願います。」と記載し、医師、薬剤師への意思表示がされています。また、処方薬がドーピング禁止薬でないことをチェックした医師、薬剤師の確認が可能な欄の設定、選手へのドーピングに対する注意事項、相談窓口の記載等、選手が常に掲載してもらうような工夫をしています。

茨城国体（2019年開催）に参加する三重県選手団に配布しました（令和元年9月）。

今年も、三重県選手団に手帳を配布するとともに、全国の国体代表選手にもアスリートお薬手帳（簡易版）を配布する予定です。

#### ・国体選手のための電話相談窓口を設置

常設の相談窓口とは別枠で、三重県の国体代表選手のためのアンチ・ドーピング相談窓口（専用電話回線5回線）を設置し、選手からの相談に対応しました（令和元年9月）。今年も、専用電話回線を設置して、10年目を迎えます。三重での国体開催ということで、電話回線を15回線の増設し、全国の国体選手からの相談に対応する予定です。

#### ・アンチ・ドーピング計画の策定

三重とこわか国体におけるアンチ・ドーピング啓発活動を計画的に進めるために「三重国体に向けてのアンチ・ドーピング事業計画（令和元年から3年度）」を策定しました（令和元年10月）。

#### ・スポーツファーマシストの研修会の開催

スポーツファーマシスト（以下、SP）の資質向上を図るため、日本アンチ・ドーピング推進機構（JADA）の協力のもと研修会を開催しました（令和2年2月11日、SP31名参加）。

#### ・SPの新規養成

アンチ・ドーピング啓発の強化のため、SPの新規養成に取り組み（令和2年4月～）、既存の公認SPと併せて、現在150名以上の薬剤師がSPとして活動しています。

#### ・薬局薬剤師のためのアンチ・ドーピング研修会の開催

薬剤師として、アスリート等からドーピングに関する相談があったときにどのように対処すべきか等の知識を習得するため、アンチ・ドーピングの基本的な考え方、禁止薬物リスト、ドーピング違反とならない安全な医薬品の検索方法などを解説する研修会を各地域薬剤師会単位で開催しました（令和2年11月～令和3年4月、研修会開催回数 8回、受講者 338名）。

また、令和3年7月以降には各地域薬剤師会単位で、薬局を対象としたドーピングに適切に対応するための手順等を習得するための説明会を開催しています。

